大坂が全米V

テニス四大会 日本勢初

女子シングルス決勝でセリーナ・ウィリアムズを破り優勝した大坂なおみ＝ニューヨーク（共同）

トロフィーを手に笑顔の大坂なおみ

大坂なおみ　2（6―2、6―4）0　S・ウィリアムズ

【ニューヨーク共同】テニスの四大会最終戦、全米オープン第13日は8日、ニューヨークのビリー・ジーン・キング・ナショナル・テニスセンターで行われ、女子シングルス決勝で20歳の大坂なおみ（日清食品）が元世界ランキング1位の36歳、セリーナ・ウィリアムズ（米国）に6―2、6―4で勝ち、初制覇を果たした。四大大会シングルスで男女を通じて日本勢初となり、優勝賞金3800万ドル（約4億21万円）を手にした。

第20シードの大坂は安定したサーブとストロークで上回り、四大大会歴代最多に並ぶ24度目の優勝を狙った第17シードのS・ウィリアムズを押し切った。大会後の世界ランキングで自己最高7位に上昇し、日本女子では1995年11月に伊達公子がマークした4位に次ぐ歴代2位。

大分合同新聞

創刊1886年（明治19年）
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
© 大分合同新聞社 2018
ニュースのご通報などは
大分☎097-536-2121
ＦＡＸ097-538-9674
別府☎0977-22-2121
ＦＡＸ0977-25-1230

朝夕刊　完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

号外

詳しくは本紙とホームページで

Gate ゲート

購読お申し込みは
フリーダイヤル 0120-510-374 合同ミナヨム
または、お近くのプレスセンター（販売店）